

## 【第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会 開催趣意 と記事掲載ご協力のお願い】

この度、「第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会」を昨年に引き続き東京で開催することになりました。2013年11月23日と24日の2日間に亘り、星薬科大学を会場として開催いたします。

「一般社団法人日本くすりと糖尿病学会」は前身である「薬と糖尿病を考える会」から、2012年1月4日に法人化をされたばかりの学会であります。本会の目的は「糖尿病の基礎薬学・臨床薬学研究ならびに医療現場における糖尿病療養指導の推進を図り、糖尿病薬物療法の向上・発展に寄与する」であります。昨年の第1回学術集会では700名弱の病院・薬局薬剤師そして基礎研究者などの参加者が、糖尿病患者へのより良き治療を求め熱き討論を交わしました。

糖尿病治療の現場では今年に入り新しい作用機序の薬剤の発売も予定され、糖尿病治療薬は複雑化を呈してきました。また内服薬と注射薬との併用など薬物管理の点からも薬剤師の職能を発揮することが重要な糖尿病治療の時代となりました。開発中の新規糖尿病薬も多種あり、これら研究者からの研究開発現場への情報発信を得ることは薬剤師として、薬物療法の専門家としても日常業務の上で必須と考えております。そのためにも病院薬剤師・薬局薬剤師、そして基礎薬学研究者との連携が大変重要となってきています。しかし従来は、臨床薬剤師は臨床現場に関わる薬剤師同士、または他職種との連携の学会へ参加をして、そして研究者は基礎開発研究の学会へ参加と、同じ糖尿病領域にかかわる薬剤師・研究者が一同に会する場がありませんでした。本会は「薬」と「糖尿病」をキーワードとした初めての基礎から臨床までに関わる薬剤師および研究者の学会であります。本会が糖尿病に関する薬物療法、基礎薬学研究的発展を目指し、延いては国民のさらなる健康向上と薬学の発展に寄与するものと確信をしております。

第2回学術集会では参加者は800名を予定しております。会議運営は質素にし、有意義な会となるよう努力する所存であります。しかしながら、これらの経費を参加者の会費だけでは賄いきれるものではなく、経費の不足分は各方面の浄財によるご支援に頼らざるを得ない実情です。また、このたびの記事掲載依頼のように、関係者の皆様に幅広いご支援をお願いしている次第です。

つきましては、当学会の学術集会につきまして、貴団体の機関誌等での記事掲載のご協力をお願いしたくと存じます。内容をご高覧いただき記事の掲載のご検討をいただき、取り計らいとご厚情をお願い申し上げます。AタイプかBタイプのどちらかをご掲載頂ければ幸いです。

第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会  
「糖尿病薬物療法のさらなる進歩へ  
-ALL (オール) 薬剤師からの発信」

日時 : 平成25年11月23日(土・祝)・24日(日)

場所 : 星薬科大学 (東京都品川区)

会長 : 佐竹正子(恵比寿ファーマシー)

参加費: 事前登録 会員8000円・非会員10000円・学生3000円

当日参加 会員10000円・非会員12000円・学生4000円

演題登録期間 : 2013年5月20日(月)~7月25日(木)

参加登録期間 : 2013年5月20日(月)~10月15日(火) 正午

詳細及び登録はホームページをご覧ください

<http://conet-cap.jp/jpds2013/>

特別講演1「糖尿病療養指導と薬剤師(仮)」

南條輝志男(日本糖尿病療養指導士認定機構/和歌山労災病院)

特別講演2「アッシュビルプロジェクト」

Anthony Pudlo (Vice-President of Professional Affairs Iowa Pharmacy Association)

シンポジウム1「個人差について(基礎薬学系)」

シンポジウム2「ALL薬剤師からの発信

-エビデンスによる妊娠期から合併症までの糖尿病予防への介入(臨床系)」

シンポジウム3「残薬管理における介入研究(学会研究班)」

教育講演6題

「糖尿病の診断」「糖尿病網膜症」「運動療法」「薬物治療」「食事療法」「患者心理」

口頭発表・ポスター発表

ミニレクチャー1「学会で発表しよう」・ミニレクチャー2「論文の書き方」

3☆(スリースター)ファーマシスト研修「体験版」

参加型セミナー1「インスリンデバイス・SMBG」

参加型セミナー2 症例検討「導入編」検査値の読み方・処方設計の理解

参加型セミナー3 症例検討「応用編」療養指導・心理アプローチ

\*参加型セミナーは事前申込制、定員になり次第受付終了となります

ランチョンセミナー両日各5題

研修単位: 日本薬剤師研修センター・CDEJ(1群・2群)申請中

問合せ先: 運営事務局 532-0004大阪市淀川区西宮原1-8-29 8F (株)コネット内

TEL:06-6398-5745 Fax. 06-6398-5746 Email:jpds2013@conet-cap.jp